

小さい事に忠実な人は、大きい事にも忠実であり、小さい事に不忠実な人は、大きい事にも不忠実です。ルカ16:10

2017(29)年 週 報

3月19日

第3聖日

第3499号

「エルサレム入城」

聖
言

ホサナ。祝福あれ。主の御名によって来られる方に。イスラエルの王に

ヨハネ12:13

主の弟子となる
第五課 弟子としての生き方
イエスは、それまでご自身とこの世との係りの接点であったユダヤ教の制度を完全に覆された。イエスは宗教心の篤い人から見れば「たんでもない」と思えるような人々と共に食卓につかれました。イエス様の行動には、明確な目的がありました。すべての人が、ご自身の福音と教えに出会ってほしいと願っておられたのです。そして、弟子たちにご自身の模範に倣うことを求められました。新しく弟子になったばかりの人に起こりうる最も悲劇的なことの一つは、弟子の生活の基本は規則に従うことだということ(意図はよくても信者を大きく誤らせてしまう)印象を持たせてしまうことです。多くの教会の教会規則、また信者への期待や生き方は、キリストを信ずることによって新たに見出した自由を破壊するか、隷従状態へと変えてしまいかねません。そして、時と共にこのような規則が、未信者の世界と私たちの間に隔ての壁を築いていくのです。福音は、私たちが自由にするはずのものであります。髪は、私たちが信仰の「基本原則」に従って歩むことを願っておられるのであって、すべてのクリスチャンが避けるべき「多くの汚れ」に従わないように歩むことを願っているわけではありません。私たちは信仰を、規則と言う土台の上か、原則と言う土台の上か、いずれかに建て上げます。ですから、この原理を理解することが非常に大事になってくるのです。この課の聖句であるローマ一四ノ一〜二三は原則に生き、キリストにある自由を守る大事な聖句です。(CBTより)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp